

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年4月25日

【事業年度】 第110期(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

【会社名】 ダイキン工業株式会社

【英訳名】 DAIKIN INDUSTRIES,LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 十 河 政 則

【本店の所在の場所】 大阪市北区中崎西二丁目4番12号梅田センタービル

【電話番号】 大阪(06)6373-4356

【事務連絡者氏名】 経理財務本部経理グループ長 多 森 久 夫

【最寄りの連絡場所】 東京都港区港南2丁目18番1号JR品川イーストビル

【電話番号】 東京(03)6716-0112

【事務連絡者氏名】 コーポレートコミュニケーション室 専任部長 井 上 武 郎

【縦覧に供する場所】 ダイキン工業株式会社東京支社
(東京都港区港南2丁目18番1号JR品川イーストビル)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成25年6月27日に提出した第110期(自平成24年4月1日至平成25年3月31日)有価証券報告書の記載事項に一部訂正すべき事項があったため、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものである。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(企業結合等関係)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は__を付して表示している。

第一部 【企業情報】

第5 【経理の状況】

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

【注記事項】

(企業結合等関係)

(訂正前)

当連結会計年度(自平成24年4月1日至平成25年3月31日)

取得による企業結合

(3) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価 2,200百万米ドル

取得に直接要した費用 アドバイザリー費用等 2,824百万円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

発生したのれん金額

2,260百万米ドル

発生原因

今後の事業展開により期待される将来の超過収益力から発生したものの。

償却方法及び償却期間

20年間にわたる均等償却

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	795百万米ドル
固定資産	4,189百万米ドル
資産合計	4,985百万米ドル
流動負債	2,005百万米ドル
固定負債	743百万米ドル
負債合計	2,749百万米ドル

取得原価の配分において、のれん以外の無形固定資産に配分されたもののうち主なものは顧客関連資産1,217百万米ドル、商標権424百万米ドルであり、これらの資産の償却期間は効果の及ぶ期間に基づき個別に設定している。

(訂正後)

当連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

取得による企業結合

(3) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	2,200百万米ドル(175,780百万円)
取得に直接要した費用 アドバイザリー費用等	2,824百万円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

発生したのれんのご金額

2,260百万米ドル(195,711百万円)

発生原因

今後の事業展開により期待される将来の超過収益力から発生したものの。

償却方法及び償却期間

20年間にわたる均等償却

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	795百万米ドル(68,866百万円)
固定資産	4,189百万米ドル(362,654百万円)
資産合計	4,985百万米ドル(431,520百万円)
流動負債	2,005百万米ドル(173,607百万円)
固定負債	743百万米ドル(64,386百万円)
負債合計	2,749百万米ドル(237,993百万円)

取得原価の配分において、のれん以外の無形固定資産に配分されたもののうち主なものは顧客関連資産1,217百万米ドル(105,401百万円)、商標権424百万米ドル(36,763百万円)であり、これらの資産の償却期間は効果の及ぶ期間に基づき個別に設定している。